

和光会会報No. 49

－三菱電サービス（菱サ）～三菱電機ビルテクノサービス（MELTEC）本社OB会－

◆「第15回総会」開催のお知らせ

和光会総会を次の日程で開催することに致しましたので皆様のご出席をお待ちしております。

- ・ 日時：平成 29 年 6 月 17 日（土）15：00～17：30
- ・ 場所：東京都荒川区荒川 7-19-1 システムプラザB館 8F 大会議室
- ・ 会費：3,000 円

今回も前回同様イベントとして和光会会員の日頃の活動状況を紹介するため、趣味の作品の展示コーナーを設けることにいたしました。パッチワーク、版画、写真、絵画、書道、墨絵、彫刻、陶芸、著書、論文、雑誌への掲載記事などご紹介したいと思います。この機会に、是非仲間へ作品の披露をお願い致します。

展示される方は、作品を当日持参され、総会開始前の 13:30～14:00 に所定の場所に展示し、総会終了後お持ち帰り願います。

なお、展示スペース準備のため総会案内の「返信はがき」に下記の事項をご記入願います。

1. 作品のジャンル（例えば、書道、写真、油絵など）
2. サイズ [縦 × 横 × 高]（展示スペースはお一人当たり 180×60cm 机 1 つ分以内）
3. 展示に関し事務局への要望

また、展示に関して不明な点は下記事務局にお問い合わせお願いいたします。

MTB和光会事務局

TEL：03-3802-9530

メールアドレス：meltec-OB-wakokai@mtb.ssg.meltec.co.jp

今回も支社 OB との交流を図るべく、支社 OB 会にも和光会総会・懇親会を紹介し、支社 OB のメンバーも参加できるようにいたします。

前回同様、総会の詳細への参加につきましては総会案内の「往復はがき」にてMTBより別途ご案内申し上げますので、日程だけ抑えておいてください！

◆「バッケ味噌の話」

…… (2017-03) —山本 拓弘（馬骨）さんから投稿頂きました—

東北の春の山野を代表する野草の一つにフキノトウ（落の董）があります。特に秋田県の落は有名ですが、実際に東北の春の山野を訪ねると、秋田に抛らずどこにでもたくさんの落を見ることが出来ます。落が花を咲かせようとするのは、雪解けが終わる頃かと思いますが、それは関東では桜が散り果て、葉桜が緑を増し始める5月半ば近くであり、消えかかった残雪の中に点在する無数とも思える淡い黄色がかった薄緑の蕾を見つけると、春がやって来ているのを実感するのです。

東北では、このフキノトウのことを「バッケ」と呼んでいるようです。その呼び方を知ったのは、家内が東北の春旅の中で、郷土の山菜料理の本を買い求めたものに載っていたからでした。そこには落味噌のことがバッケ味噌と書かれていました。実際に東北の春を旅していると、どこの道の駅の地産物販売所にもたくさんの種類の山菜が並べられています。それらを買求めるのが楽しみで、毎年出かけてゆくわけなのですが、当然のことながら大事なことは山菜をどう料理して楽しむかということであり、そのためには郷土料理の知恵を拝借するのが一番というわけです。フキノトウのことを何故バッケと呼ぶのか、いつもだとそのような理屈っぽい疑問が湧いたりするのですが、どういうわけなのか、その時はフキノトウなどと呼

ぶよりもバツケの方がびったりだ！と即納得したのです。その時以来私どもの中では、フキノトウはバツケであり、蕎麦味噌はバツケ味噌となったのです。

さて、そのバツケ味噌の話です。何年か前の旅の中での、その作り方の様子を紹介したいと思います。老人夫婦がどんな旅をしているのかを知るのも、一興を覚えられることでありましょう。

瀑布街道と呼ばれる奥入瀬溪流に沿った国道102号を行くと、やがて十和田湖畔の子の口という所に出るのですが、そこから右を行けば国道102号で山林の中を行く道となり、左を行けば十和田観光の中心部を通る国道454号となります。この二つの道はやがて合流するのですが、その地点あたりに滝の沢峠



国道102号線滝の沢峠辺りの景観。この辺りには未だ野草たちの花も少なかった。この少し先にバツケがたくさんある平地がある。

があります。その時の気分で右に行くか、左に行くかを決めるのですが、この年は右に行くことにしました。

登り始めの頃は左方に見えていた十和田湖は、間もなく道の両側の雑木林のような樹木たちに隠されて見えなくなり、坂を登るにつれて、消えていた残雪が顔を出し、滝の沢峠辺りに差し掛かると、所々に50センチ以上もの残雪が樹木たちの根元を埋めているのが目に飛び込んで来ました。そこには未だ冬が残っているのが良く判ります。

しかし、道路の両脇にはククザキイチゲやニリンソウの花などが今を盛りと可憐な花を咲かせており、そこはまさに春なのです。

国道102号線滝の沢峠辺りの景観。この辺りには未だ野草たちの花も少なかった。この少し先にバツケがたくさんある平地がある。

しばらく行くと雪の少ない平らな場所があり、その雪融けの大地には無数のバツケ達が顔を見せていました。この辺りのバツケは、関東辺りの小型のものではなく、倍以上の大きさがあるように思います。摘んで顔を近づけると、何とも言えないあの馥郁とした香りが漂ってきます。これぞ東北の春のシンボルだ、と思えるほどのものです。興奮しながら採取したバツケは、いつの間にかかなりの量になり、大型のポリ袋2個に収められるほどとなりました。

存分にバツケ採取に満足した後は、下り坂となった国道102号を走り下りて黒石方面へ向かいます。途中、道路に絡むように左右を流れている溪流には、雪解けの水が所々白い飛沫を吹き上げながら奔り下っています。やがて道脇の雪は消え、間もなく虹の湖というダム湖が見えて来ました。ここには道の駅が造られており、一息入れて今日の終点の田舎館村の道の駅に向かいます。

道の駅：いなかだて（青森県田舎館村）は、私どもの気に入りの場所で、もう何度もお世話になっています。春先には、バツケ味噌づくりの拠点としても何度か利用させて頂いていますし、秋には数種類の稲穂で描かれた田んぼアートが有名です。また、この地には弥生時代の稲作の遺跡があり、道の駅に隣接して出土品を収納・展示した博物館も造られています。

その日は到着が15時を過ぎていましたので、とてもバツケ味噌づくりに取り掛かる気にはなれず、道の駅から7～8kmの所にある温湯（ぬるゆ）温泉までを往復してかけ流しの温泉を楽しみ、早や目の就寝とな

りました。くるま旅くらしの基本は、日の出と共に起き、日が沈むとともに寝るということにあります。多少のずれはありますが、早寝早起きは旅の鉄則です。

翌日はいよいよバツケ味噌づくりです。まずは手順を紹介しましょう。

- ① バツケを水洗いし、汚れた箇所や花が開いてしまった部分を取り除いてきれいにする
- ② 鍋に湯を沸かし、きれいに洗ったバツケをさっと茹でる
- ③ 茹でたバツケの水分を絞って、ペーパータオルで拭き取り、それを細かく刻む。
- ④ ③の作業の間に、鍋に味噌と砂糖を入れて油で炒めながら煉る。
- ⑤ 煉り上がった味噌の中に③のバツケを入れて良くかき混ぜながら和える。

これでバツケ味噌は完成するのですが、保存するためには予め煮沸消毒したガラス瓶を用意しておき、バツケ味噌が熱いうちに詰め、蓋を閉めた瓶を逆さまにして冷えるのを待つ。それが終われば全工程の完了。

さて、実際の作業はどうかといえば、これは全工程を一人では難しいと思います。特に大量のバツケを扱う場合は、旅先での作業は二人でないと無理です。我々の場合の状況を紹介しますと、まずは①の水洗いは私の担当となります。道の駅構内には水道施設が無いので、150mほど離れて隣接するキャンプ場までバツケの入った重い袋を運び、そこの炊事場を使わせて頂いての作業となりました。この日は朝から寒風が吹き荒ぶ天候で、水道水は時々蛇口から横になって流れ出るほどの風で、洗っている内に指先の感覚がなくなるという厳しいものでした。1時間以上かけての水洗い作業は、どうしてこれほどたくさんのバツケを採って来てしまったのだろうと、反省するほどのものでした。家内はこの間はこの日開かれているボロ市のようなものに出かけていて、洗い終えて車に戻った時は不在でしたが、間もなく古布の良い掘り出し物があつたとニコニコ顔で戻って来ました。

さて、ここからがバツケ味噌づくりの本番です。②の湯を沸かすまでは自分の担当。茹でたその後に水分を拭き取るのは家内の担当。そしてそれを刻むのは自分の担当です。大量のバツケを刻むにはかなりの握



力が必要で、力仕事となりますので担当させられというわけです。コンロが一つしかありませんので、湯沸かしや、油炒めなどの工程は一度に行うことはできず、順番に進めるしかありません。自分の担当する工程は、力仕事中心の大雑把な内容ばかりで、水洗いなどはかなり厳しい下積み作業で、かなりの我慢が必要です。家内の担当は、バツケ味噌の品質を左右する微妙な整を要する工程であり、鈍感な自分には担

洗い終えたバツケは大型のポリ袋1個に収まるレベルとなっていた

当は到底無理なのだと、家内は決めつけているようです。口出しも手出しも殆どしないままに、出来上がるのを待つことになるのです。

車の中いっぱいに広がったバツケ味噌の香りを存分に嗅ぐこと2時間ほど。ようやく出来上がった瓶詰めバツケは、たったの7個でした。あれほどの量のバツケを扱っていたのに、たったこれだけなのですから、店で販売されているバツケ味噌が、思いの外高価なのは致し方ないのかなと改めて思ったのです。それにしても我が家のバツケ味噌の方が、市販のものに比べて、味も香りも数倍勝っている感じがします。

私どもが何故バツケ味噌にこだわって作るのかといえば、それはカッコよく言えば、味噌と一緒に練り込まれた東北の春を味わえるからなのです。バツケ味噌の最大の特徴は、香りと共に封じ込められている苦味にあると思います。苦味の味わいを楽しめるのは、大人の証明なのだと思います。甘いのは幼児。辛い味を知ってやっと一人前。そして苦味をしみじみ味わえれば、これが本物の大人なのです。勿論、その時には傍に一盃の酒があるのは当然のことです。

旅の中で作ったバツケ味噌は、帰宅後は知人への旅の報告と共に間もなく冷蔵庫から消え去って行きました。東北の春を味わえたのはホンの一時のこととなりました。喜びや楽しみは分かち合うことが大事なのだと、言い聞かせるように努めている次第です。



バツケを鍋に入れて茹でているところ。かなり大きな鍋なのだが、一度では無理で、この時は3回くらいに分けて茹でることとなった。



完成したバツケの瓶詰め。蓋の空いているのは、これからの旅の中で味わうためのもので、心は逸っている。色は良くないけれど、味は抜群の出来上がりだった。

(2014年東北春の旅から)

◆ 会員の趣味のコーナー

会報No.47より第14回和光会総会の展示作品をご紹介しますが、今回も引き続き残り3名の方の作品をご紹介します。

今回もこれらを始めた時期(年数)・動機、作品を制作しての喜び(感動)、苦労したこと、「他に取り組んでいる趣味」などを含めて紹介いたします。

なお、出展出来なかった方の作品・趣味についても出来るだけ順次ご紹介をしていく予定です。

◆ 油絵・書道

油絵（2点）

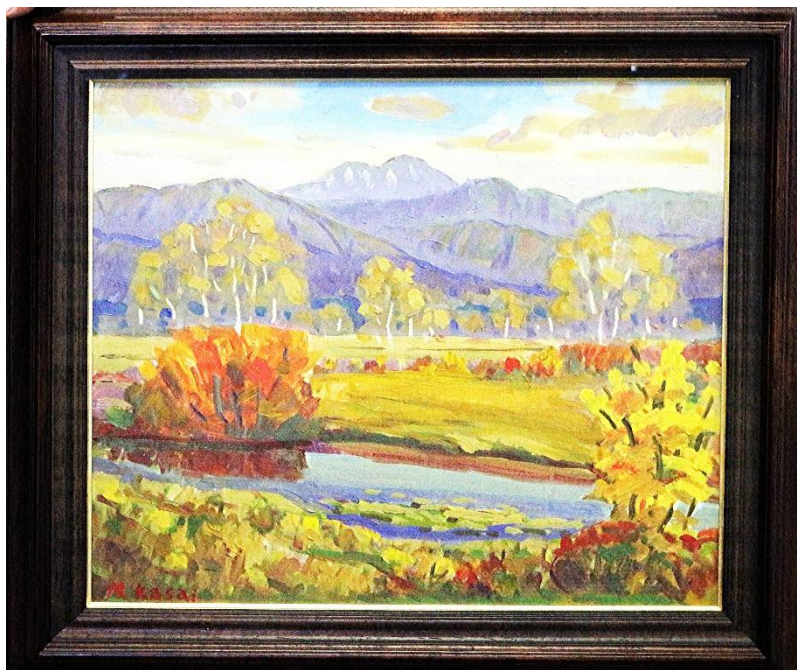
……（2016-06）笠井 宗男さんから投稿頂きましたー

①「萌える箱根路」 （F30号）



H28年5月3～8日に川越中央図書館でのグループ展出展(6枚出展)のもの10年ほど前に芦ノ湖スカイラインより駒ヶ岳を望んで、晩秋の景色を描いたが、今春に芽吹き時期、萌黄色に惹かれて修正したものです。

②「湿原の秋」 （F10号）



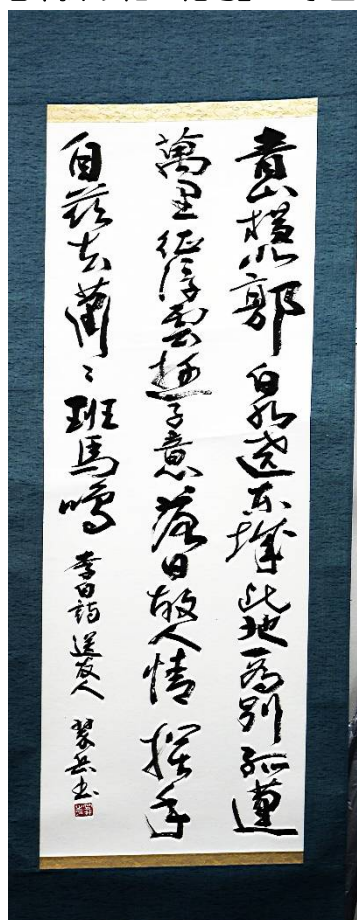
昨年描いたもので今年1月の川越アトレ6階グループ小作品展に出展のもの尾瀬ヶ原には5月から10月にかけて何度か出向いている。現地ではスケッチ程度しか描いてはいないが、想いは脳裏に詰まっています。写真を参考に引き出したものです。

<近況>

今年3月末で勤務を終了しました。書道は地元公民館と勤務地であった板橋区立郷土芸能伝承館で講師として指導しています。昨年より、毎日書道展に出展するようになり、今年は2回目の入選となりました。絵は地元公民館のクラブで、その他家庭菜園、たまに囲碁などを楽しんでいます。

書道 条幅

毛筆掛け軸「絶句」 李白の詩（五言絶句） 「送友人（友人を送る）」 高校漢文教科書より



青山横北郭 白水遶东城
此地一为别 孤蓬万里征
浮云游子意 落日故人情
挥手自兹去 萧萧班马鸣

青山北郭に横たわり 白水東城を遶（めぐる）
此地一（ひと）たび別れを為し 孤蓬萬里に征く
浮雲遊子の意 落日故人の情
手を揮（ふる）いて茲より去れば 蕭蕭として班馬鳴く

注）孤蓬 風に吹かれて漂う一本のよもぎ。一人で遠い旅に出かける友人

遊子 旅人

蕭蕭（しょうしょう） 物寂しいさま

班馬 分れゆく馬

◆水彩画 3点

…… (2016-06) —東山 孝幸さんから投稿頂きました—

①「サイロのある風景（成田夢牧場）」 (20F) 横 900ミリ



わが町の絵画サークルでバス1日スケッチ旅。

子供たちと小動物のふれあいがテーマ牧場のようで家族ずれでにぎわっていた。牧場といえばサイロだが、ここのサイロは極端に大きい北海道でいろいろサイロを描いたがその比ではなかった。

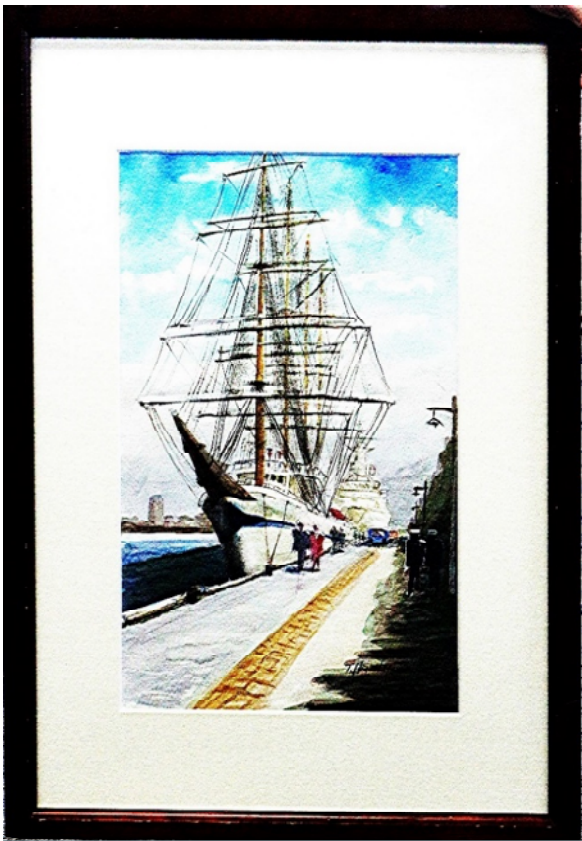
早速サイロを主題にスケッチしたが仕上がってみれば普通の風景、サイロが主題の構図になっていないようだ。

②「生簀小屋のある風景」(40F) たて 1000ミリ



千葉県の上房総の海岸は太平洋の荒波を受け止める岩場が広くひろがりアワビやイセエビの海産物の宝庫となっている。太海と江見の海岸の間に道の駅「オーシャンパーク」がある。道の駅の裏はそそり立つような岩場が沖合に向けて広がり、独特の景観を醸し出している。そんな岩場のずーと向こうにかすかに廃屋のようなものがみえる。近寄ってみると生簀専用の小屋。以前は海産物を市場に出すために役立ったようだが今では運搬手段や冷凍技術の発展で使用されていないようだ。岩場の最先端で太平洋の荒波に耐える古びた小さな小屋になにか熱いものを感じた。

③「日本丸」(10P) たて 500ミリ



運よく日本一の帆船 日本丸が横浜港に入港した日にスケッチにおとずれた。スケッチもほどほどに絵仲間と中華街で乾杯 乾杯

..... (2016-06) —小松 正泰さんから投稿頂きました—

障がい者施設用 通所交通費等管理ソフト

地域活動支援センター「窓の会」が行う次の運営事務の簡素化・省力化・効率化・精度アップ・記録データ保存・活用の容易化等を具現化する。

- (1) 煩雑で、集計ミスの起こりやすい交通費補助額の算出
(2) 個人別交通費支払状況、プログラム参加者数、実利用者数の個人別・日別・月別・期別 把握・管理

[illegible]

2016 - 4 - 28

2016 年度 4月 窓の会交通費等 個人別集計表

4月28日現在

1

		4	●	グ: グルーワズ戦 金曜も入力下さい		金	新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		1400		2500		7,350		48,950		31,665		49,775		331,27		36,721		←各戦合計経過																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		ス: スーパーデー、金曜も入力下さい		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩		グ		ス		新		進		歩	

1. 特徴的な項目：

(1) インプット作業が少なく簡便：

日々入力する作業は、月別シートの日付列の個人別セルに、3種類の文字（新、溝、歩、又グループ活動、スポーツデーの日では グ、ス 及び かかった交通費の実費）をインプットするだけで、他の全ワークシートに関連する全ての結果データが瞬時に計算・表示され、グラフ化される。⇒ 省力効果＝絶大

(2) アウトプット項目が豊富：

半期毎の川崎市への交通費請求用の他、期末の実績報告、収支決算、次年度予算（加算金を含む）用データはもとより、将来必要となりそうな管理資料を網羅して自動表示。

(3) 月毎の袋詰め用金種表の便利さ：

黄ボタンクリックで、空欄の行を無くして上詰めされ、印刷も使い勝手もよくなり、袋詰め作業がダイナミックに省力化された。（緑ボタンでリセット）

この上詰めシステムは、未払い者一覧表にも適用している。

(4) インプット作業後のワークシートの線と色の整え：

月別シート及び個人別シートで、入力や、開催日変更作業実施後、黄ボタンクリックで、ワークシート全面の色付けやラインが自動的に整えられ、保護がかかる。

(5) 年度更新がボタンクリックで全自動化：

2016 年度 4月発生交通費個人別金種一覧表											N= 40
	所要枚数→	1	17	13	98	20	73	24	79	40,859	備考欄
前年度変更 0											
No.	氏名	新袋	5,000	1,000	500	100	50	10	5	1	合計額
3	秋津嶋	要			1	1		3	1	3	638
4	安芸ノ海	要		1			1	1		4	1,064
5	曙	要				4					400
6	朝潮	要				2	1	3			280
7	朝青龍	要		1	1			3	1	3	1,538
9	旭富士	要				2	1	1	1	1	266
13	荒岩	要			1	4	1	4			990
17	淡路嶋	要				4	1			1	451
22	稲妻雷五郎	要			1	4	1	3	1	3	988

設定シートで 年度名を変更し、黄ボタンクリックで前年度からの必要データは繰越し、不要データやコメントを消去し、各シートのカレンダーも、プログラム実施日も年度に合わせて自動更新し、退会者の行を消去、新規メンバーにふりがなをつけて緑ボタンをクリックすれば、名簿は新 50 音順となり、全ブックが新年度用に生まれ変わる。

2. 作者にとって不満なこと：

(1) ブックが超肥大化してしまった

7 年間にわたり、日々使いながら 修正・改訂・改良・拡張を重ねてきたが、軽量化や、不要となったマクロのプロシージャの削除は、その影響を恐れて十分には行っていない。

(2) エクセルやマクロの常識からすれば、全面的にシステムの軽量化が図れるはずとの思いを常に抱いてはいますが、力及ばず、まあ こんなところかとあきらめてもいます。

○ カレンダーの追加・手帳の頒布について

カレンダーは毎年年末に会員宛1部送付しておりますが、カレンダーの追加・手帳の頒布をして欲しいとのご要望がありましたので、2016年分から有償申し込みを受け付けることに致しました。

2018年分をご希望される方には下記方法にて頒布いたしますので郵便局払込取扱票（振込用紙）にて必要部数をご記入の上来る平成29年6月30日（木）期限厳守にて下記口座にお振込願います。期限に遅れるとMELTEC宛追加発注できませんので期限厳守をお願いいたします。年末にご送付いたします。

なお、カレンダー送付時同封いたしますので送料がほとんど増加いたしませんのでカレンダーの単価を昨年同様といたします。

1. カレンダー 1部 ￥500

2. 手帳 1部 ￥250

郵便局払込取扱票（振込用紙）の書き方

① 口座番号：00100-7

② 口座記号：650896

③ 加入者名：和光会

④ 金額

⑤ 通信欄・ご依頼人

カレンダー、手帳をお申し込みの方はそれぞれの＜商品冊数＞＜合計金額＞をご記入ください。

おところ・おなまえ・ご連絡先電話番号をそれぞれご記入ください。

◆ 第2回 東山孝幸 水彩画展 開催！

東山孝幸氏が退職後、水彩画に魅せられ、描き続けて2000点以上制作されました。

氏の作品は何度となく千葉県展に入選され、習志野市長賞なども受賞されております。これまで総会時には展示コーナーで必ず展示していただいておりますのでご覧になった方もおられると思いますが、この度第2回目の個展が、下記要領で開催されますので是非ご覧ください。

なお、風景作品40点を展示する予定です。

開催場所：ギャラリーぴ〜た（1階）

〒104-0031

東京都中央区京橋2-8-5（京橋富士ビル）

TEL 03-3561-5050

地下鉄銀座線 京橋駅2分

都営地下鉄浅草線 宝町駅3分

JR東日本 東京駅（八重洲口）8分

開催日時：2017年5月10日（水）～16日（火）

11:00～18:00（最終日は16:00まで）

◆ 訃報ご報告

元常務取締役 大沼 豊氏におかれましては、病氣療養中のところ、2017年1月30日（月）にご逝去されました（享年87歳）。

ここに哀悼の意を表し、謹んでお知らせ申し上げます。

なお、大沼 豊氏は1956年4月に菱電サービス株式会社に入社され、1979年8月に東京東支社昇降機部長、1984年2月ビルシステム本部 副本部長、1985年6月取締役ビルシステム本部 副本部長、1989年6月常務取締役ビルシステム本部 副本部長、1989年7月常務取締役東京支社長、1993年7月常務取締役サービス技術本部長兼安全推進本部長を歴任され、1995年6月常務取締役を退任し、顧問に就任。1999年6月に顧問を退任されました。

◆ MELTEC 情報

○ MELTEC 役員人事－ 2017 年 4 月 1 日付で次のとおり役員人事が行われました－

	新	旧	氏 名
昇任	専務取締役 本社 昇降機保守事業本部長	常務取締役 本社 昇降機保守事業本部長	杉田 和彦
昇任	専務取締役 本社 品質保証本部長	常務取締役 本社 品質保証本部長	村上 忠司
新任	常務取締役 本社 経理部長	＜三菱電機株式会社より転籍＞	澤田 喜夫
新任	取締役 首都圏第二支社長	役員理事 本社 人材開発センター長	一條 靖久
新任	取締役 本社 人事部長	役員理事 首都圏第二支社 総務部長	岩村 竜也
新任	取締役 本社 技術開発本部長 (兼) 技術企画部長	＜三菱電機株式会社より転籍＞	安藤 宏
新任	取締役 九州支社長	役員理事 中国支社長	宇和川慎一
新任	監査役 (非常勤)	＜三菱電機株式会社＞	西川 茂宏
退任	顧問	常務取締役 本社 ファシリティ事業本部長	伊藤 永将
退任	顧問	常務取締役 本社 営業本部長	渡野辺 泉
退任	顧問	常務取締役 関西支社長	井上 信夫
退任	顧問	常務取締役 本社 技術開発本部長	西山 秀樹
退任	＜メルテックビジネス株式会社 取締役社長＞	常務取締役 本社 人事部長	佐々木雅隆
退任	顧問	取締役 本社 保守事業本部 副事業本部長 (兼) モダニゼーション 生産統括部長	柄澤 利夫
退任	＜株式会社菱サ・ビルウェア 取締役社長＞	取締役 九州支社長	山口 祐史
退任	顧問	取締役 本社 経理部長	北山 友一
退任		監査役 (非常勤)	四方 壽一

◆ 事務局より

- ・ 和光会会報№.3 4より「くるま旅くらし心得帖」の山本拓弘氏よりくるま旅についてご投稿いただいておりますが、今回は「2014年東北春の旅から」を投稿いただきました。
なお、山本拓弘氏の「くるま旅くらし」の最近の様子は下記ブログに載っておりますので是非ご覧ください。

<http://blog.goo.ne.jp/vacotsu8855>

「山本馬骨」で検索しても可能です。

- ・ 「会員趣味のコーナー」では第14回和光会総会の展示作品の中から、常連となりました笠井宗男さんの油絵・書道、東山孝幸さんの水彩画、それに小松正泰さんのパソコンソフトと3名の方の作品をご紹介させて頂きました。小松正泰さんのパソコンソフトは誌上では十分紹介することができませんので、詳細をお知りになりたい方は直接小松正泰さんにご連絡ください。
- ・ 2017年度会費納入対象の方宛に「1194」「和光会会報」送付時振込用紙を同封いたしますので、会費「4,000円（2年分）」を次の口座宛に振り込み賜りたくよろしくお願い申し上げます。

振込先：郵便局

口座番号：00100-7

口座記号：650896

加入者名：和光会

- ・ E-MAIL 会員各位へは INFORMATION をお送りしておりますが、未だ不達がありますので、**メールアドレスの変更時は速やかにご連絡**をお願いいたします。
また、添付資料がないとの連絡を頂くこともありますので、そのような場合は事務局あてご連絡ください。
携帯電話のメールでは添付資料送付は無理ですのでその旨ご連絡ください。今後は印刷物をご送付致します。
- ・ 「和光会会報」・「1194」・カレンダーなどを会員宛送付しておりますが、宛所不在で戻ってくる場合がありますので、**転居・住所表示変更等の場合は速やかにご連絡**をお願いいたします。

皆様の日頃の活動やグループ活動などのお便り・投稿をよろしくお願いいたします。

2017-4-11 和光会事務局 寺門 三男

029-872-4122 mitsuotera@jcom.home.ne.jp